

平成29年11月24日 15時
福岡市保健福祉局保健予防課（担当：執行，谷口，元木）
TEL 711-4270 内線2061

結核集団感染事例について

1 概要

市内保健所に肺結核患者の届出があり、患者と接触のあった市内の日本語教育機関関係者等を対象に接触者健康診断等を実施した結果、これまでに結核患者3名、感染者7名が確認されました。このうち、検査により初発患者と結核患者1名の結核菌遺伝子型が一致し、厚生労働省が定める結核集団感染事例と認め、厚生労働省に報告しましたので、お知らせします。

2 経緯

- (1) 初発患者（20代，男性）は、平成29年2月より咳症状があり、市販薬を内服したが改善しなかった。平成29年5月に学校健診が実施され、胸部エックス線検査で異常指摘され、5月17日に県内医療機関を受診したところ、肺結核と診断された。同日付で当該医療機関より市内保健所に肺結核患者の届出があった。
- (2) 平成29年7月から11月にかけて、患者の接触者32名（患者が通う市内の日本語教育機関関係者及びアルバイト先）を対象に接触者健康診断等を実施した結果、結核患者3名と感染者7名が確認された。

■接触者健康診断の結果（平成29年11月24日現在）

区分	接触者健康診断実施者数	受診結果		
		結核患者	感染者	合計
日本語教育機関関係者	26	3	7	10
アルバイト先	6	0	0	0
合計	32	3	7	10

- (3) 初発患者と結核患者3名のうち検査可能な1名の結核菌の遺伝子型別検査を実施したところ、結核菌の遺伝子型が一致した。

3 結核患者の概要

	年代	性別	転帰	備考
患者①（初発患者）	20代	男性	入院後通院治療中	日本語教育機関学生
患者②（接触者）	20代	男性	入院後通院治療中	日本語教育機関学生
患者③（接触者）	20代	男性	通院治療中	日本語教育機関学生
患者④（接触者）	20代	女性	通院治療中	日本語教育機関学生

4 今後の対応

当該学校等に対して結核感染防止の指導を行うとともに、接触者に対しては今後も計画的に接触者健康診断を実施する予定。内服治療中の方に対し服薬治療の支援を行う。

**上記の患者は、現在排菌しておらず、他人に感染させる恐れはありません。
今回の情報提供は、市民への結核に関する啓発及び学校等における再発防止を促すために行うものであることから、報道にあたっては、患者等のプライバシー保護にご配慮をお願いします。**

※ 結核の集団感染とは

同一の感染源が、2家族以上にまたがり、20人以上に結核を感染させた場合をいい、発病者1人を6人の感染者に相当するとして感染者数を計算。

1 結核とは

結核は、現在でも国内で1年間に約1万8千人の患者が新たに発病している病気です。

福岡市では、平成28年に新たに結核を発病した方（新登録患者）は192人で、新登録患者数は近年概ね減少傾向にあります。人口10万対結核罹患率は、12.4です（全国13.9）。

結核の特徴は以下のとおりです。2週間以上長引く咳や痰など気になる症状がある場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

【結核の特徴】

原因（病原体）：結核菌

感染経路：結核は、たんの中に「結核菌」が出ている患者さんの、せきやくしゃみで飛び散ったしぶきを吸い込むことにより感染します。

感染と発病：「感染」＝「発病」ではありません。

結核菌が病巣をつくり、その中で増え始めると「結核を発病」した状態になりますが、感染した人がすべて発病するわけではありません。

結核の感染者のうち発病する人は、約1割といわれ、発病する場合は感染後6カ月頃から2年以内のことが多いといわれています。また、他の病気や加齢等により身体の抵抗力が低下したときにも発病しますので、数十年経って発病することもあります。

発病した場合の症状：初期の症状は風邪とよく似ているので、見逃されることがよくあります。せきやたんが2週間以上続いたら、結核を疑って早めに医療機関を受診することが重要です。

治療方法：現在、結核によく効く薬（抗結核薬）が開発され、3～4種類の薬を6～12か月確実に服薬すれば治すことができる病気になりました。ただし、薬剤の選択が不適切であったり、途中で内服をやめてしまったり、飲み忘れていたりすると薬が効かない「耐性菌」を生み出し、治療できる薬が少なくなり、手術や長期の入院・治療が必要になることもありますので、確実な内服治療が重要です。

なお、他者へ感染させる可能性がある状態（たんの中に結核菌が出ている状態）の場合は、入院治療が必要です。

2 福岡市内における結核患者の発生状況

新登録患者数及び罹患率(人口10万対)

区分	平成5年	平成15年	26年	27年	28年	
福岡市	新登録者数	484	320	218	222	192
	罹患率	38.5	23.2	14.3	14.4	12.4
全国	新登録者数	47,437	31,638	19,615	18,280	17,625
	罹患率	38.0	24.8	15.4	14.4	13.9

3 福岡市内における結核集団感染の発生状況

過去の主な集団感染事例（福岡市）

公表日	場所	患者数等
平成29年1月	日本語教育機関	結核患者5名、感染者3名